

令和3年度
自己評価報告書

令和4年4月

一般社団法人 岡山県歯科医師会立
岡山高等歯科衛生専門学校

目次

1. 学院の概要	2
(1) 学院名・所在地	2
(2) 教育課程	2
(3) 学生数	2
2. 学院の教育理念・目標	2
3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	3
4. 評価項目の達成及び取組状況	4
(1) 教育理念・目標	4
(2) 学校運営	4
(3) 教育活動	5
(4) 学修成果	7
(5) 学生支援	8
(6) 教育環境	9
(7) 学生の受入れ募集	9
(8) 財務	10
(9) 法令等の遵守	11
(10) 社会貢献・地域貢献	11
5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	12

1. 学院の概要

(1) 学院名・所在地

学院名	一般社団法人 岡山県歯科医師会立 岡山高等歯科衛生専門学校
学院長名	木村 里栄(令和4年4月～) 西岡 宏樹(令和3年7月～4年3月) 藤井 龍平(令和3年4月～6月)
所在地	〒700-0813 岡山県岡山市北区石関町1-5
連絡先	TEL (086) 223-0202 FAX (086) 233-4363 メールアドレス info@odhc.jp

(2) 教育課程

課程名	歯科医療専門課程
学科名	歯科衛生科
修業年限	3カ年
募集人員	50名(女子)
備考	「歯科衛生士」の国家試験受験資格取得

(3) 学生数

年度当初	令和2年度	令和3年度
入学者数	60名	53名
在校生数	156名	156名

各年5月1日現在

2. 学院の教育理念・目標

「徹底した実学教育」、「人間性の育成」、「社会に貢献できる力と誇りの獲得」という3つの教育理念を柱に、高度の技術・知識を持って医療人として現代の社会で自己の未来を切り開いていく創造的能力と倫理観を兼ね備えた人間の育成、人材の養成を目指して、次の教育目標を掲げている。

- (1) 医療人としての身につけるべき基礎力(知識・技術)の習得
- (2) 自律できる人間力、倫理観を兼ね備えた人材の育成

(3) 多くの現場で実習を行い、多様なニーズに応える現場力を身につける

3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 歯科衛生士国家試験の全員合格

国家試験対策として専任教員、講師が連携して国家試験対策補講、業者模試、学内模試、3年生のグループ学習、国家試験担当講師による個別指導などにより、昨年度に引き続き全員合格達成を目指す。

(2) 就職希望者の全員就職の達成

学生の就職意識を高めるため、就職セミナー、学生の意向に沿った就職活動を支援する。

コロナ禍中で厳しい就職状況にあるものの、無料職業紹介所としての機能や岡山県歯科医師会との連携により、本年度も卒業生の就職100%達成を目指す。

(3) 人間力、倫理観を高める教育メニューの充実

基本的な倫理的問題に向き合う力を身に付けるだけでなく、外部講師による「パワーアップ」セミナーなどの特別講義を通して充実した教育を行う。

(4) コロナ禍での教育活動の円滑な実施

コロナ禍の中、学生の学習意欲を低下させないよう、感染防止策等の環境整備・対策に努めながら対面授業を主に、講義、臨床実習を円滑に実施する。このため、コロナ感染拡大などの環境変化発生時には、オンライン講義などへの切り替えができるよう十分な準備を行い、教育、運営環境の低下が学生の教育、技能の習得に影響がないよう円滑な教育活動に努める。

(5) 中退防止・休学者支援

中退者が生じないよう、入学案内段階から歯科衛生士の仕事内容についてわかりやすく伝えるとともに、入学後には専任教員・担任等による親しみやすいクラス運営や個人的悩みが気軽に相談できる体制を整え、学習面でのフォローアップと合わせ、学生個々の状況に応じた支援を行えるようにする。休学者に対しても円滑な復帰に向け、随時連絡をとりつつ、相談に応じていく。

(6) 入学者の確保

本学院では、定員50名の入学者を確保できている。しかし、少子化による18歳人口の減少から定員確保が難しくなる恐れがある。

本年度も、コロナ禍のため、高校訪問の自粛、一日体験入学の中止を余儀なくされた。そこで、感染防止対策を十分に行い、2回の学院説明会により本学院の特徴などをアピールする。また、ホームページの充実に加え、歯科医師会員への声かけ依頼など本学院の周知と受験への働きかけ活動を強化していく。さらに、受験機会の拡大と意欲ある学生の確保に向けて、来年度より入試内容の変更に向けて準備を進める。

(7) 教員の指導能力の向上と教育環境・内容の充実

新たな知見の解明、治療法の進歩、機器の開発など歯科医療の進展や学生を取り巻く社会環境の変化に対応し、教育内容の充実に向け、カリキュラムの見直しを検討する。また、視聴覚設備の充

実に努める。併せて、教員の指導力を高めていくため、学会や研修会など各種機会に積極的に参加していく。

さらに、学生アンケート結果などを分析して、教育環境・内容を充実していく。社会的なICT（情報通信技術）の発展に対応して情報科学等の教育充実を図る目的で、講義・実習で学生1人に1台のPC等の確保を進める。

4. 評価項目の達成及び取組状況(令和3年4月～令和4年3月)

ガイドライン評価項目別に下記に記す。

【評価数値】

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・目標

本学院の教育理念・教育目標については、入学希望者等に対し、学院説明会において説明した。今後、保護者を含め、入学時ガイダンスを行う際入学時懇談会にて周知を行うこととしている。在学生に対しては、ホームルームの時間等に説明、周知を図っている。

評価項目	評価結果
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
学校における職業教育の特色は明確か	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 歯科医療の社会的要請に応える歯科衛生士養成の将来構想の作成
- ・ 将来構想の作成に基づいた教育理念・目標の見直し
- ・ ホームページ等を通じた周知

② 今後の改善方策

- ・ 歯科医療の構造的変化に対応した歯科衛生士像の将来構想の作成と教育理念・目標の見直し
- ・ 各種媒体への掲載による周知

③ 特記事項

なし

(2) 学校運営

本学院は、岡山県歯科医師会を運営母体としており、管理運営体制は「岡山県歯科医師会定款」、「岡山高等歯科衛生専門学院規則」等に基づき設置し運営している。

教育管理運営体制として、「職員会」、「教務会議」、「運営協議会」を設置している。

「教務会議」は、学院長、副学院長、教務部長、教務担当講師、専任講師、事務長で構成し、学院運営、学生教育の方向性を検討し、重要事項の決定を行っている。

また、自己点検評価や学生の福利厚生に関する事項についても協議、調整、議論を行っている。

「職員会」は、学院長、講師、専任教員・事務職員・その他の職員で構成し、学科・課程の編成、教育計画など学院運営を始めとする重要事項の決定を行っている。

また、学院長の諮問に応えるほか、学院外から一般運営につき必要な立案及び決議を行うものとして、「運営協議会」を設けている。

評価項目	評価結果
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 学校組織整備、運営などに関わる意思決定システムの整備とその運用
- ・ 教育活動に関する情報公開・周知の普遍的な展開

② 今後の改善方策

- ・ 学校運営等に関わる意思決定システムの整備と組織系統の明確化
- ・ 情報公開の基本となるホームページの充実と迅速な対応
- ・ 情報システム整備の検討

③ 特記事項

なし

(3) 教育活動

厚生労働省の歯科衛生士養成所指定規則に基づいて教育課程の編成を行っている。歯科医学の進歩、歯科医療の社会的要請の変化を見極めつつ、新しい科目の導入、カリキュラムの改訂などに対応する準備を進めつつ、教育活動を推進している。

多様なニーズに応える現場力を高めるため、岡山県歯科医師会と連携し、今2年生から臨床実習先医院を複数に拡大した。臨床実習医院とは連絡協議会を実施し、指導講師との連携を図っている。

専任教員に対してはコロナ禍においてもWeb等を利用し、歯科医学・医療、保健、教育関連の学会、研修会、講演会への参加するよう勧めている。こうした取り組みにより教員の資質向上と、教育指導の充実に努めている。

評価項目	評価結果
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 教育活動評価体制の確立と外部関係者による評価の実施

- ・ 歯科衛生・医療の多様なニーズに応える現場力の高い人材の育成
- ・ 専任教員の充実と資質の向上

② 今後の改善方策

- ・ 評価体制の推進
- ・ 学生による授業評価等の推進
- ・ 専任教員の積極的な研修等への遠隔を含めた参加や自己研修の充実

③ 特記事項

なし

(4) 学修成果

模試を15回実施するとともに受験に向けて学生の意欲を喚起するため特別講義を行った。後期からは専任教員、講師による国家試験対策補講、業者模擬試験、学内模試、3年生のグループ学習、国家試験担当講師による個別指導など最大限の対策を講じ、今年度も歯科衛生士国家試験合格率100%を達成した。

就職については、県歯科医師会と緊密に連携し幅広く求人票を受け入れており、今年度も100%の就職率達成に向け取り組んだ。

学習・進路に不安を持つ者に対しては、専任教員、担任による面談、保護者を交えた三者面談等により、退学者数の低減を図っている。

評価項目	評価結果
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 中退した学生の原因分析とその対策
- ・ 歯科衛生士国家試験の100%合格を常に目標として、その対策補講、学生指導のさらなる充実した実施
- ・ 卒業生の確実な動向の把握

② 今後の改善方策

- ・ 中退学生の原因の分析などを通して、よりきめ細かな学生指導を行うように努める。
- ・ 歯科衛生士国家試験の出題傾向の分析、各講師間の密接な連携などを通して充実した補講の実施、学生指導の向上を図る。

- ・ 同窓会組織のしっかりとした組織化を推進し、卒業生の動向把握を始めとする活動を活発にする。

③ 特記事項

なし

(5) 学生支援

問題を抱える学生に対しては、担任教員、教務担当講師を中心に個別相談を行い、教務担当者全体で情報を共有し、問題解決を図っている。

健康管理については、全学生に校医による年1回の健康診断を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、ワクチンの集団接種を受けた。登校時に異常を感じる学生については、抗原検査を実施し適切に対応できるよう体制を整えている。

経済的支援では、授業料は比較的低廉に維持しており、日本学生支援機構奨学金、教育訓練給付制度等の手続きサポートや保護者の経済状況に応じた授業料等の分納などを行っている。

国において学生への給付型奨学金の拡大、授業料の減免される高等教育の修学支援新制度については国の確認を受け、来年度も引き続き対象校となった。

就職支援では、職業安定法及び職業安定法施行規則による無料職業紹介事業による就職支援を行っている。また、県歯科医師会とも密に連携して、学生の希望に沿う就職先の決定に努めている。

評価項目	評価結果
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 学生の生活・学習環境において、より充実した支援体制の検討
- ・ 卒業教育について、その必要性を含めた検討

② 今後の改善方策

- ・ 専任教員、担当講師を含めた担当者間の情報共有、連携の強化。また、学生相談窓口など学生が相談しやすい環境の整備
- ・ 同窓会と連携を密にして、卒業教育について検討

③ 特記事項

なし

(6) 教育環境

新潟歯科医師会館への入居により施設面では充実した一方、新型コロナウイルス感染症の拡大等が継続するなか、三密を回避した教育環境となるよう、前年度に続き、教室の変更、消毒の徹底等を図っている。設備については診療台の増設等必要に応じ順次進めていくこととしており、情報学習の充実を図るため学生1人1台のPC導入を準備した。

防災については、法定に基づいた防災訓練を実施している。

図書については、系統的に分類、整備し、歯科医学、医療の進歩に合わせた充実を進めている。

評価項目	評価結果
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 施設・設備は、歯科医療や歯科衛生士業務の日進月歩に合わせた整備が必要
- ・ 図書施設、蔵書を含めてより充実した整備が必要

② 今後の改善方策

- ・ 施設・設備は常に最新の状態に更新できるよう検討を進める。
- ・ 図書内容の見直しと整備を行い、充実する。

③ 特記事項

なし

(7) 学生の受入れ募集

歯科衛生士を志望する学生を広く受け入れることを基本として、学生募集を行っている。学校案内、募集要項、ホームページに学院の概要、入学試験、受験方法などについて示している。

コロナ禍により県下の高校訪問、一日体験入学を行えていない。前年に比べ受験者数、合格者とも減少した。学院説明会、ホームページなどにより、学院の情報発信・周知に努めるとともに、入

試制度の改善により入校者の安定的な確保を検討していく。

評価項目	評価結果
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 18歳人口の減少による受験生数の低下を極力抑えるための入試内容改善の検討

② 今後の改善方策

- ・ 歯科衛生士という職業の社会的理解度のアップを図るための積極的な広報、キャリア教育の充実
- ・ 本学院の優位性についてホームページなど充実し、強くアピールしていく。
- ・ 推薦入試において指定校推薦を導入
- ・ 意欲ある学生の確保に向け県外者入学金を県内者と同額に引き下げ

③ 特記事項

なし

(8) 財務

予算、収支計画は、過去の実績等に基づき作成し、適正な執行に努めている。

決算結果については、設置者である岡山県歯科医師会において監事及び公認会計士が確認している。財務基盤の安定と着実な運営を進める。

評価項目	評価結果
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ より安定した財務基盤の確立と継続

② 今後の改善方策

- ・ より安定した財務基盤を継続させるためには、定員以上の応募者と定員の充足を維持するとともに中途退学者を無くす。
- ・ 県歯科医師会と連携し、ホームページで情報公開を継続する。

③ 特記事項

なし

(9) 法令等の遵守

学校教育法、文部科学省の各種通達、厚生労働省が定める歯科衛生士養成所指定規則等を遵守し、学校運営を行っている。個人情報の保護に関しては、その重要性について教職員、学生に周知徹底し、適切な対応をしている。

評価項目	評価結果
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 自己評価の実施方法を点検の上、改善を行い、その情報公開を進める。
- ・ 外部視点からの評価を充実していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 自己評価の実施と問題点の改善、その情報公開について、完全な実施と情報公開を実施

③ 特記事項

なし

(10) 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献に向け積極的な取り組みを予定していたが、コロナ禍により、学生のボランティア活動への参加等が困難な状況にある。

歯科衛生教育実習の一環として3年生が岡山市立御野幼稚園、御野小学校の児童に対し、対面に替え映像による口腔ケアに関する講話、寸劇、歯ブラシ指導を行った。

評価項目	評価結果
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 学生のボランティア活動へ参加方策の検討
- ・ 地域に対する公開講座等の実施の検討

② 今後の改善方策

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況に対応しつつ、学生のボランティア活動への奨励、支援を、岡山県歯科医師会と連携して行う。

③ 特記事項

なし

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年度開始前の年間教育計画の立案、年度当初の決定を受け、完全実施を図ることとしていたが、今年度は年度当初から新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波の拡大があり、校外実習においては実地から校内実施、映像配布への変更、募集活動においては高校訪問、一日体験入学の中止などを余儀なくされた。第6派の拡大では、自宅における遠隔授業への切り替えを行った。

授業開始時間の繰り下げ、三密回避のための教室変更、消毒の徹底等により対面授業を中心に実施してきており、教育理念・教育目標に基づく適切かつ円滑な学校運営、教育活動が概ね進められている。